

専徳寺報

第485号

令和7年1月15日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

ついたち礼拝

〔月のはじまりはお寺から〕

午前9時より45分間。

正信偈和讃・法話。どなたでもお参りできます。

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

岩国 専徳寺

検索

御正忌報恩講法要

御案内

今年もご一緒に聞法につとめましょう。浄土真宗の存在意義は、法座（仏法聴聞）につきまます。報恩講はご開山親鸞聖人のご遺徳をしのぶ一年で最も大切な行事（法座）です。昨年「お取越参り」に続いて、全員一座はご縁に遇いましょう。万障くりあわせてどうぞお参りください。

日時

1月28日(火)	昼1時半～3時半
29日(水)	昼1時半～3時半 夜7時半～9時
30日(木)	朝10時～12時

※夜の帳場はなし

講師

28日・29日昼

本願寺布教使

米田順昭師 (廿日市市)

※初めてご来講賜ります。

29日夜：住職

30日朝：前住職Ⅱ「領解文」に学ぶ



お齋

1月28日(火) 11時半～13時
29日(水) 11時半～13時

※お齋料はありません。

※地区割りはありません。お聴聞の前に、ご一緒にお齋をいただきます。

※お齋作りのお手伝いくださる方を募集中です。一緒にご恩報謝いたしましょう。

◆御伝鈔拝読：29日昼座と夜座

親鸞聖人のご生涯を曾孫の覚如上人が書きつづられた『御伝鈔』を拝読します。

◆大速夜と万灯会 29日夜座

聖人のご臨終を偲ぶ厳粛な法座です。

◆30日はお餅のお下がりがあります。

◆仏具回収Ⅱご家庭でご不用となった仏具（お念珠、仏壇の荘厳具等）を回収いたします。

◆「2025年直枉カレンダー」Ⅱご自由におとりください。※門徒講金をおさめてくださったご門徒でカレンダーがまだ届いていない方はご連絡ください。



◆「私の仏事暦2025」Ⅱご自由におとりください。

●聖典、聴聞カードもお忘れ無く。



万灯会



昨年のお齋

【法句】(275) 「お念仏とは不思議なものでござんすな。わが身が称えて、そのわが身の声を有難かと思う時があるとすよ。」(岩田ヒデ)

如来・人・言葉 138

影向の法要



岡村 謙英

(下関豊北町)

私が大学生時代、一回生の頃から四年間、「在家報恩講」(お取り越し参り)のお勤めのお手伝いに行ったことがあります。

熊野の大きなお寺でした。

毎日ご院家さんと、若院(先輩)と、自分たち学生四人の計六人で、朝七時から晩の七時ぐらまで「お正信偈」を読み続けました。

ある日、一つ山をこえた百軒ぐらいの村に行きました。

その晩はその村で当屋(法座)がたち、村の人が当屋に集まりました。

仏間の隣の部屋にご院家さんが待機し、自分たちは仏壇前に並びました。時間になり、羽織袴の当屋のご主人が集まった人たちに挨拶をしました。

「皆さん今日は朝からお疲れでござい

ました。今年の当屋はうちの番でございます。あとでお斎もありますのでごゆっくりしてくださいませ。それではお正信偈のお勤めを始めさせていただきます。」

準備していた小さな鐘で「七・五・三」と喚鐘をしました。途中、隣の部屋からご院家さんが出てきて仏壇正面に座りました。

そしてまさにご院家さんが鈴をたたこうとするその時、当屋のご主人がもう一度立ち上がって大きな声で、

「ただいま、親鸞聖人、お着きでございます！」

すかさず鈴が鳴って「帰命無量寿如来 南無不可思議光……」と。

一回生の時はビックリしました。

「なんとという芝居があった事をするのか。」

しかし二年、三年、四年……四回目の時は有難かったです。

気がついてみれば、涙を流して喜んでいる方もおられました。

「今年も報恩講にあえた。親鸞聖人に

あえた」という思いです。

報恩講はご恩報謝するという法要の名前ですが、また別名「ご影向の法要」ともいいます。影向とは「影を慕って」。親鸞聖人のみ跡を慕う法要という意味合いです。

「帰命無量寿如来」とは何か。

私が唱えている正信偈は、そのまま、親鸞聖人が喚んでいてくださっておるという事なのです。

親鸞聖人は今まさにこの目の前におられて、「無量寿如来に帰命せよ。不可思議光に南無したてまつれ」と、私たちに喚んでくださっている。それが本当なのです。(続)

~~~~~

二年前の山口別院での七月常例法座の抜粋です。以下のQRコードから聞けます(掲載部分は1時間45分頃より)。





## 研修旅行 11月28日

6年ぶりの仏婦・専徳寺倶楽部合同の研修旅行でした。府中・龍仙寺（武田一真住職）にお参りし、午後からはミュージカル「キャッツ」を観劇しました。

【参加者】31名。



## 除夜会 12月31日

11時30分から鐘をつき始めました。今年は予想以上に多い120名以上の方がお参りくださいました。大鐘をついた後、本堂にて記帳をしてもらいました。本堂では新年になると同時に「讃仏偈」のお勤めをしました。

その日は詩人・谷川俊太郎氏の49日でした。そこで26年前に専徳寺で行われた谷川さんとDIVAのコンサート「Diva with 谷川俊太郎～音楽と詩の朗読の夕べ～」の映像を流しました。

(以下のQRコード、もしくは専徳寺HPの「法話：おみのりに みみをすます」(2025年1月上旬)よりコンサートの映像へジャンプできます)



# 寺内だより

●み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕

11月



## 総代長ご往生

4年前より専徳寺の総代長をつとめてくださっていた村河多丸様のご往生されました。平成23年より保津総代をお引き受けくださり、毎年の法座や「ご開山750回大遠忌法要」などの行事をもりあげてくださいました。

また保津墓園の管理を30年以上にわたってお世話くださいました。

岩国藩鉄砲隊保存会の会長でもありました。長年にわたってのご尽力に深く御礼申しあげます。

●法要余香(永代経法要) 11月14日・11月15日

【ご講師】内藤昭文師

【お供え(蜜柑)】白田憲光

親鸞聖人のご誕生年「一一七三年」の覚え方を「聖人は『ひと(1)ひと(1)なみ(73)(人人並み)』にお生まれになりました」と教わりました。

「人並み……本当に人間になるという事、心ある人生を歩むとはどういう事なのか」という聖人からの問いかけを聞かせていただきます。

●ご恩を偲び〔法事勤修〕 10月22日～1月7日

様 様 様 様 様 様 様 様 様

## 専徳寺倶楽部：冬の集い 12月14日

庭木の剪定・溝掃除・煤払等、境内が大変美しくなりました。

【参加】秋嶋進一、浅井佐、上田浩之、小方基史、沖原政裕、岸井清市、吉柴伸一、木戸久夫、白田直則、白田憲光、土井勉、中崎覚、半田正昭、廣田尚志、藤本昭範、松重吉英、村上純一、村重親男、森上博之、森田幸一（20名）



## ホームページのリニューアル

「にっしょう認定こども園」と一緒に「専徳寺」のホームページをリニューアルします。

詳細はまた後日お知らせします。

